

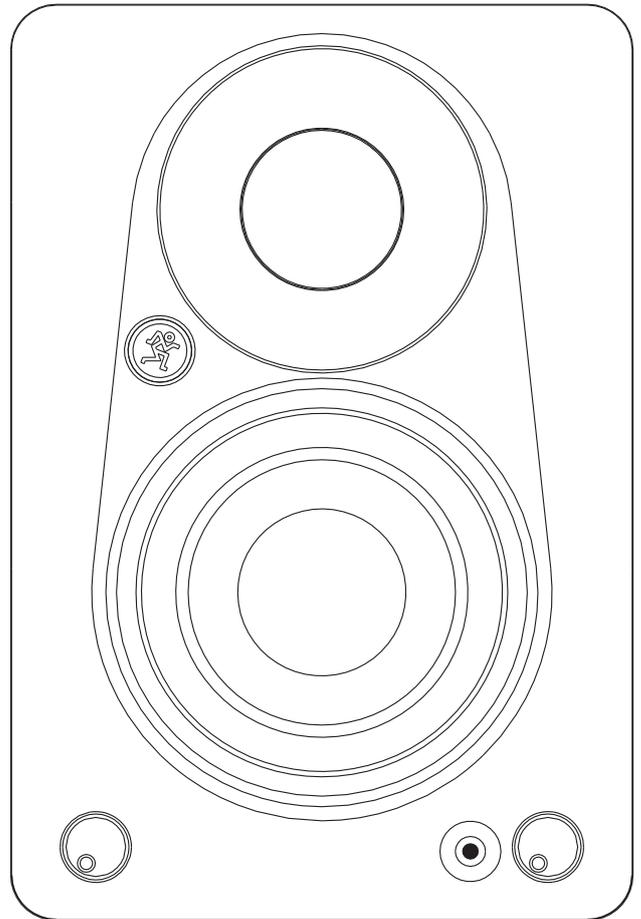
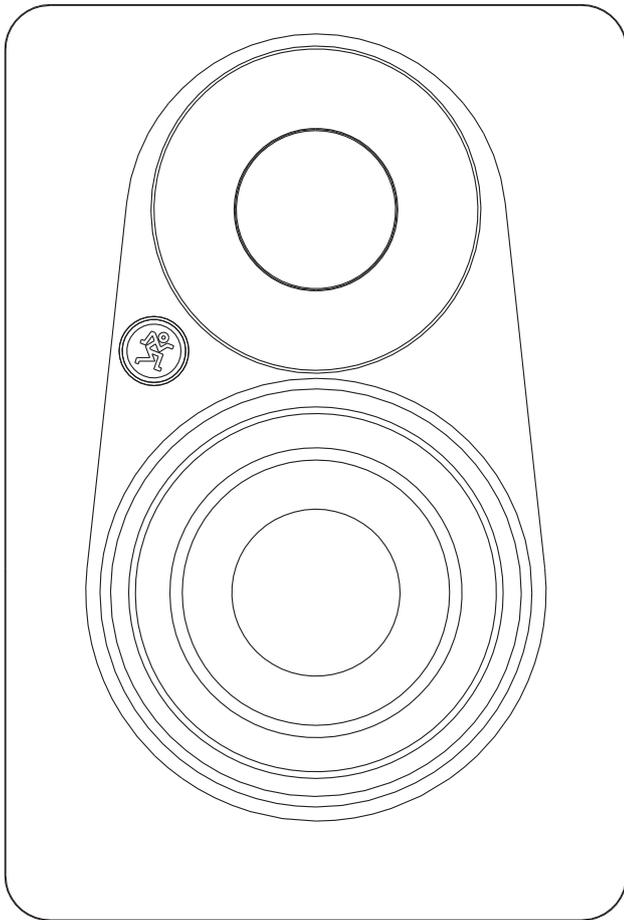


**CR3.5<sup>BT</sup> · CR4.5<sup>BT</sup> · CR5<sup>BT</sup> · CR8<sup>BT</sup>**  
CREATIVE REFERENCE MONITORS WITH BLUETOOTH

スタジオモニター・スピーカー（Bluetooth付き）

# クイック・スタートガイド

Ver. 1.0



# 安全上の注意

- この製品を使用する前に本書をよくお読みください
- 本書は必要などに見返せるよう、大切に保管してください
- 警告表示には必ず従って、正しくご使用ください
- 水のかかる場所や湿気の多い場所では使用しないでください
- 本機を液体のかかる場所に置かないでください。また操作や電源コードの取り扱い、濡れた手で行わないでください
- お手入れは乾いた布で行ってください
- 製品の通気口をふさがないでください
- 電源を接続する前に、本製品の電圧仕様が使用する地域の電源電圧と一致していることを確認してください。適切に設置されたコンセントを使用してください。
- 雷が接近している場合や、長期間本製品を使用しない場合には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
- 意図しないトラブルが起こったときのために、電源プラグや電源スイッチを容易に操作できる状態にしておいてください
- 本製品および電源コード、接続ケーブルを暖房器具やストーブなど熱を発生する機器の近くには設置しないでください。また裸火を近づけないでください
- 本製品の近くで可燃性ガスを使用したスプレーなどを噴射しないでください。引火のおそれがあります
- 本製品を移動するときは、電源ケーブル、接続ケーブル等をすべて抜いてから行ってください
- 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください
- 付属の電源ケーブルをほかの電化製品に使用しないでください
- メーカーが指定した付属品・アクセサリのみを使用してください
- ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないでください。本体の故障や、けがをする可能性があります
- スピーカーは定格範囲内で使用してください。定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると故障の原因になります
- 安定した場所に設置してください。落下などにより破損したり、周囲の方が負傷する場合があります
- 吊り下げて使用しないでください。吊り下げて使うように設計されていないため、製品が落下して人命に関わる事故の原因になる可能性があります
- 修理や点検は、必ず専門の技術者にご依頼ください。以下のような場合には、製品の修理が必要です
  - ・液体をこぼした、異物が製品内部に入り込んだ
  - ・落下や踏みつけなどで、本体または電源コードやプラグ等が損傷した
  - ・雨や強い湿気にさらされた
  - ・正常に動作しない
  - ・異臭や異常を感じた
- テレビやラジオ、携帯電話の近くで使用するとノイズが発生する場合があります
- 大音量で使用しないでください。聴覚障害を引き起こす可能性があります。また、音量にかかわらず長時間の聴取により継続的に耳に負担をかけ、聴力に悪影響を及ぼす可能性があります

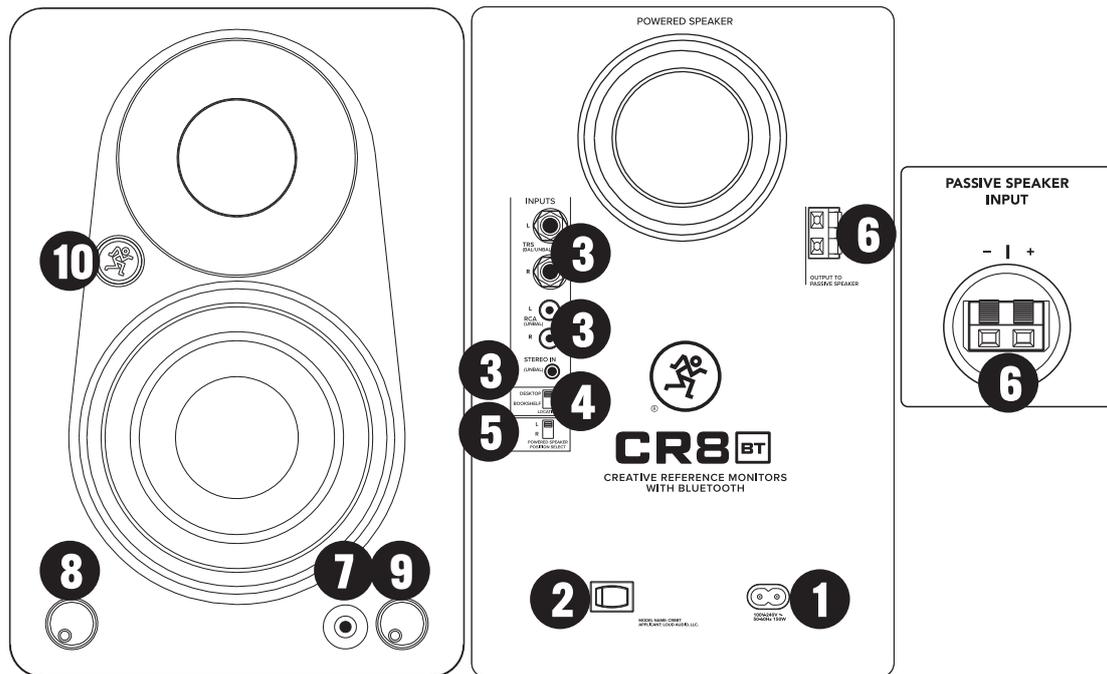


## 注意

感電の危険があるため、カバーを取り外さないでください。修理は必ず専門の技術者にご依頼ください。

※本製品を廃棄する際は、お住まいの地域で定められたルールに従って処分してください

# フロント & リアパネルの説明



## ① 電源端子

同梱の電源コードをこの端子に接続します。

## ② 電源スイッチ

モニタースピーカーの電源のON/OFFを操作します。電源が入るとフロントパネルのRunning Manの周りが白く光ります。Bluetoothが接続されたときには緑に光ります。

## ③ INPUTS

PC、ミキサー、スマートフォンなどの音源からのライン出力をこの入力端子に接続します。

## ④ LOCATION

モニタースピーカーの設置位置が、近い場合は上 (DESKTOP) に、遠い場合は下 (BOOKSHELF) に、スイッチをセットします。

## ⑤ POWERED SPEAKER POSITION SELECT スイッチ

パワードモニターが左にあるときは上 (L) に、右にあるときは下 (R) にスイッチをセットします。

## ⑥ PASSIVE SPEAKER INPUT

付属のスピーカーケーブル (黒 : -、赤 : +) を、パワードモニターの±スプリングクリップからパッシブモニターの同じ極性の端子に接続します。

## ⑦ ヘッドフォン出力端子

ステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続するとスピーカーからの音は遮断されヘッドフォンのみから音が聞こえるようになります。

## ⑧ トーンノブ

このノブを回すと、再生音のトーンが変わります。左に回しきった状態はフラットな周波数特性になります。時計回りに回していくと、低音の存在感が増し、高域はきらびやかになっていきます。はじめはセンターの位置でお試してください。

## ⑨ ボリュームノブ

モニタースピーカーの出力レベルを調整します。さらにモニタースピーカーのON/OFFとしても使用できます。ただし、このノブを下げ切っても主電源はOFFにできません。長時間使用しない場合は、②の電源スイッチをOFFにしてください。

## ⑩ Bluetooth

Bluetoothで接続する際に、このボタンを長押しします。最後にBluetooth接続した機器と再度接続する場合には、このボタンを素早く押します。Bluetooth接続中にこのボタンを押すと、一時停止/再生の操作ができます。

※静電気放電が起こると、Bluetooth接続が解除される場合があります。

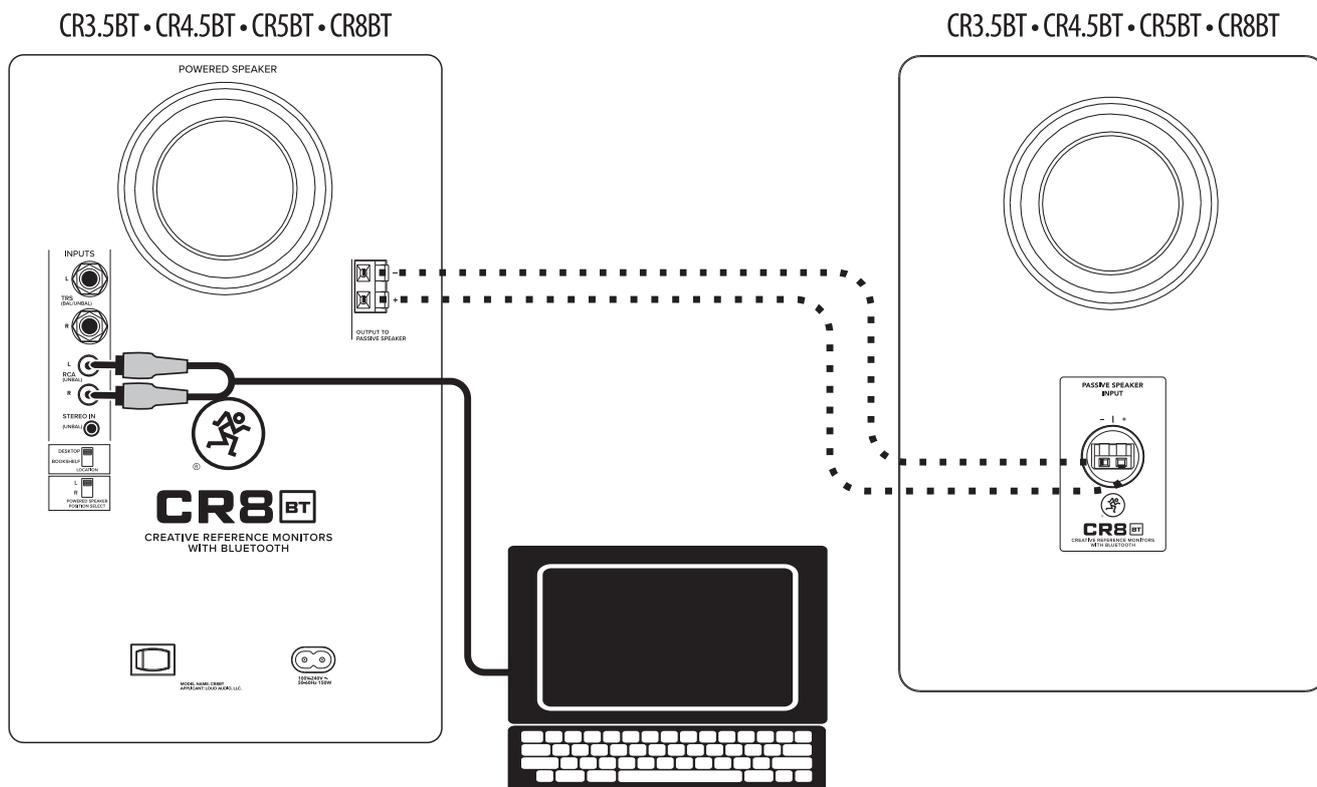
---

# クイックスタート

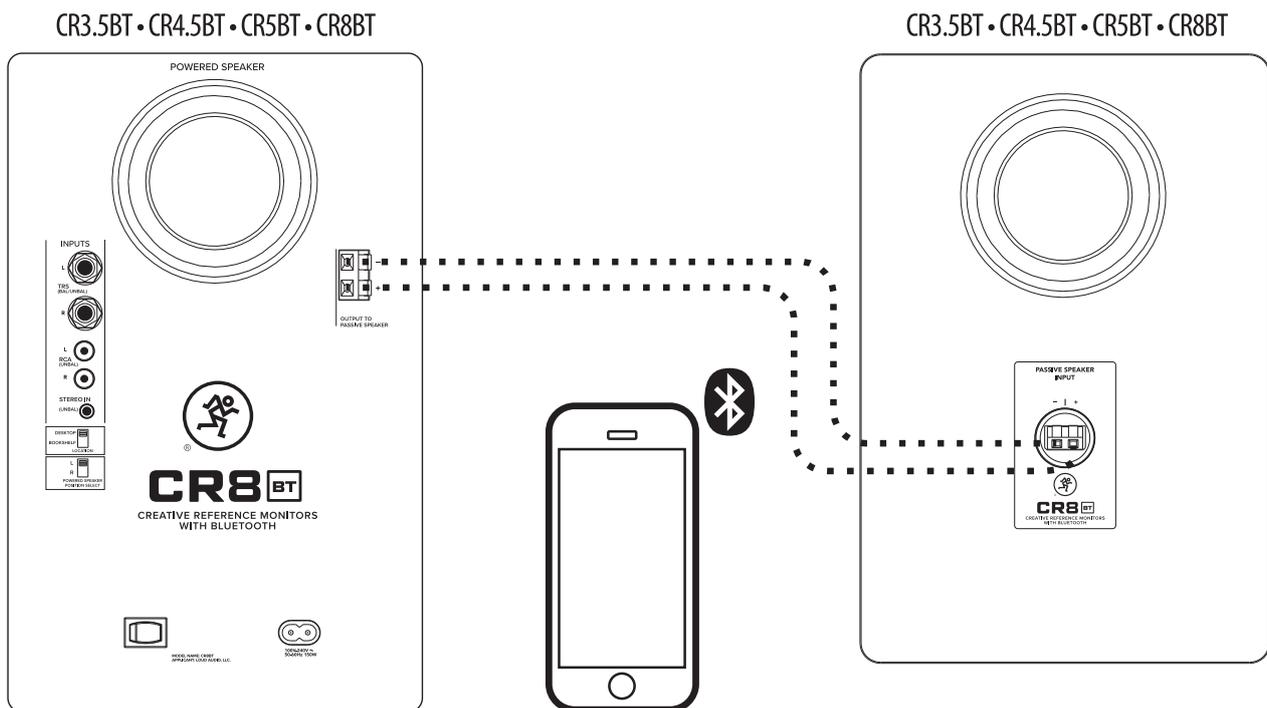
1. P.2に記載している安全上の注意を必ず読んでください。
2. すべての機器の電源をOFFにした状態で配線してください。フロントにあるボリュームノブは反時計回りに完全に回しきった状態（OFFの状態）にしてください。
3. 付属のスピーカーケーブル（黒：-、赤：+）を、パワーモニターの±スプリングクリップからパッシブモニターの同じ極性の端子に接続します。
4. 電源コードをコンセントに接続します。本機は100V専用です。日本国外での使用はできません。
5. PCやタブレット、スマホ等のBluetoothデバイスの電源を入れます。
6. スピーカーの電源を入れます。
7. CRBTシリーズのスピーカー前面にあるMackieアイコン(⑩)を長押しし、ペアリングモードに入ります。接続したいBluetoothデバイスの【設定】→Bluetoothより「CRBT」を選択して、ペアリングを行ってください。
8. 音源を再生し、Bluetoothデバイスの音量を上げます。フロントパネルのボリュームノブをゆっくりと回し、心地よい音量に調整します。

# 接続図

## PC等との接続例



## Bluetooth再生機器との接続例



# 製品仕様

	CR3.5BT	CR4.5BT
周波数特性 (-10 dB)	60 Hz - 20 kHz	55 Hz - 20 kHz
最大SPLピーク	100 dB	101 dB
トータルパワー	50 W (RMS) クラス AB アンプ	
クロスオーバー周波数	3.0 kHz	
入力	メス1/4インチ バランス/アンバランス RCA アンバランス 1/8インチ アンバランス	
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング	
電源	100V-240V, 50-60 Hz, 60 W	
寸法 (H×W×D)	206×140×180 mm / 本	226×155×211 mm / 本
質量	3.7kg / ペア	4.5kg / ペア

※製品の仕様は予告なく変更することがあります

# 製品仕様

	CR5BT	CR8BT
周波数特性 ( -10 dB)	50 Hz - 20 kHz	44 Hz - 20 kHz
最大SPLピーク	105 dB	108 dB
トータルパワー	100 W (RMS) クラス D アンプ	140 W (RMS) クラス D アンプ
クロスオーバー周波数	3.0 kHz	2.0 kHz
入力	メス1/4インチ バランス/アンバランス RCA アンバランス 1/8インチ アンバランス	
Bluetooth	5.0 オーディオストリーミング	
電源	100V-240V 50-60 Hz, 110 W	100V-240V 50-60 Hz, 150 W
寸法 (H×W×D)	262×175×236 mm / 本	376×251×345 mm / 本
質量	6.9kg / ペア	16.0kg / ペア

※製品の仕様は予告なく変更することがあります

